

各 位

トモニホールディングスグループの令和4年3月期第2四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和4年3月期第2四半期（令和3年4月1日～令和3年9月30日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：山田怪男）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス
(1) 令和4年3月期第2四半期（令和3年4月1日～令和3年9月30日）連結業績

当第2四半期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息、役員取引等収益及び国債等債券償還益が増加したものの、有価証券利息配当金、国債等債券売却益及び株式等売却益が減少したこと等により、前年同期比2,071百万円減少して33,526百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損、株式等売却損、株式等償却及び与信関連費用が減少したこと等により、前年同期比4,531百万円減少して24,361百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比2,460百万円増加して9,164百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比2,225百万円増加して6,795百万円となりました。

当第2四半期末における主要勘定残高の状況は、総資産残高は前年度末比1,934億円増加して4兆6,013億円となり、純資産残高は前年度末比77億円増加して2,508億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は前年度末比1,521億円増加して4兆483億円、貸出金残高は前年度末比659億円増加して3兆1,496億円、有価証券残高は前年度末比127億円増加して7,121億円となりました。

		令和4年3月期 第2四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	33,526百万円	△2,071百万円
	経常費用	24,361百万円	△4,531百万円
	経常利益	9,164百万円	2,460百万円
	親会社株主に帰属する中間純利益	6,795百万円	2,225百万円
		令和4年3月期 第2四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	46,013億円	1,934億円
	純資産	2,508億円	77億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	40,483億円	1,521億円
	貸出金	31,496億円	659億円
	有価証券	7,121億円	127億円
	自己資本比率（国内基準）	8.85%	0.03%

(2) 令和4年3月期通期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）連結業績予想

令和3年5月14日に公表しております令和4年3月期通期の連結業績予想（経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益）につきましては、以下のとおり修正しております。

①修正内容

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	13,800	9,150
今回修正予想（B）	16,750	11,600
増減額（B-A）	2,950	2,450
増減率（%）	21.3	26.7

②修正理由

当社銀行子会社2行において、第2四半期までの資金利益及び役員取引等利益が当初予想を上回ったことから、令和4年3月期第2四半期累計期間の連結業績は当初予想を上回る結果となりました。こうした第2四半期までの業績を踏まえて、令和4年3月期通期の連結業績予想を上方修正するものであります。

2. 徳島大正銀行

(1) 令和4年3月期第2四半期（令和3年4月1日～令和3年9月30日）単体業績

当第2四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息及び役務取引等収益が増加しましたが、株式等売却益が減少したこと等により、前年同期比187百万円減少して16,452百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、役務取引等利益が増加したこと等により、前年同期比738百万円増加して14,547百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比362百万円増加して5,245百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が減少したこと等から、前年同期比806百万円増加して5,125百万円となり、中間純利益は、前年同期比953百万円増加して3,872百万円となりました。

当第2四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比1,381億円増加して2兆2,872億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比1,400億円増加して2兆4,064億円となりました。また、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症対応融資をはじめ、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比386億円増加して1兆7,810億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は8.09%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップを図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取引先企業への資金繰り支援を積極的に行いましたが、前年度末比5,061百万円増加して29,858百万円、総与信に占める割合は1.65%となりました。

		令和4年3月期 第2四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	16,452百万円	△187百万円
	コア業務粗利益	14,547百万円	738百万円
	コア業務純益	5,245百万円	362百万円
	経常利益	5,125百万円	806百万円
	中間純利益	3,872百万円	953百万円
	本業利益	3,048百万円	394百万円
	与信関連費用	435百万円	△432百万円
		令和4年3月期 第2四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	25,535億円	1,320億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	22,872億円	1,381億円
	総預り資産	24,064億円	1,400億円
	貸出金	17,810億円	386億円
	有価証券	3,833億円	135億円
	自己資本比率（国内基準）	8.09%	0.07%
不良債権	金融再生法開示債権額	29,858百万円	5,061百万円
	総与信に占める割合	1.65%	0.25%

(2) 令和4年3月期通期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）単体業績予想

令和3年5月14日に公表しております令和4年3月期通期の単体業績予想（経常利益及び当期純利益）につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	8,050	5,450
今回修正予想（B）	9,500	6,650
増減額（B-A）	1,450	1,200
増減率（%）	18.0	22.0

3. 香川銀行

(1) 令和4年3月期第2四半期（令和3年4月1日～令和3年9月30日）単体業績

当第2四半期の損益状況は、経常収益は、国債等債券売却益及び株式売却益が減少したこと等により、前年同期比2,143百万円減少して13,411百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、役務取引等利益が増加したこと等により、前年同期比98百万円増加して11,173百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、経費が減少したこと等により、前年同期比123百万円増加して3,948百万円となりました。

経常利益は、債券関係損益が増加したこと等により、前年同期比1,183百万円増加して3,994百万円となり、中間純利益は、前年同期比624百万円増加して2,755百万円となりました。

当第2四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比144億円増加して1兆7,665億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比176億円増加して1兆9,069億円となりました。また、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症対応融資をはじめ、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比274億円増加して1兆3,777億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は9.60%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップを図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取引先企業への資金繰り支援を積極的に行いました結果、前年度末比980百万円減少して27,313百万円、総与信に占める割合は1.94%となりました。

		令和4年3月期 第2四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	13,411百万円	△2,143百万円
	コア業務粗利益	11,173百万円	98百万円
	コア業務純益	3,948百万円	123百万円
	経常利益	3,994百万円	1,183百万円
	中間純利益	2,755百万円	624百万円
	本業利益	2,414百万円	694百万円
	与信関連費用	285百万円	△18百万円
		令和4年3月期 第2四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	20,440億円	617億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	17,665億円	144億円
	総預り資産	19,069億円	176億円
	貸出金	13,777億円	274億円
	有価証券	3,265億円	△8億円
	自己資本比率（国内基準）	9.60%	△0.03%
不良債権	金融再生法開示債権額	27,313百万円	△980百万円
	総与信に占める割合	1.94%	△0.11%

(2) 令和4年3月期通期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）単体業績予想

令和3年5月14日に公表しております令和4年3月期通期の単体業績予想（経常利益及び当期純利益）につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	5,300	3,500
今回修正予想（B）	7,000	4,850
増減額（B－A）	1,700	1,350
増減率（%）	32.0	38.5

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
株式会社徳島大正銀行 企画部
株式会社香川銀行 総合企画部

TEL：087-812-0102
TEL：088-656-1118
TEL：087-812-5132